

FTSE Russell ESG Rating のご紹介

JPX & LSEG

Important information

FTSE Russell is not an investment firm and this presentation is not advice about any investment activity. None of the information in this presentation or reference to a FTSE Russell index constitutes an offer to buy or sell, or a promotion of, a security. This presentation is solely for informational purposes. Accordingly, nothing contained in this presentation is intended to constitute legal, tax, securities, or investment advice, nor an opinion regarding the appropriateness of making any investment through our indexes.

議題

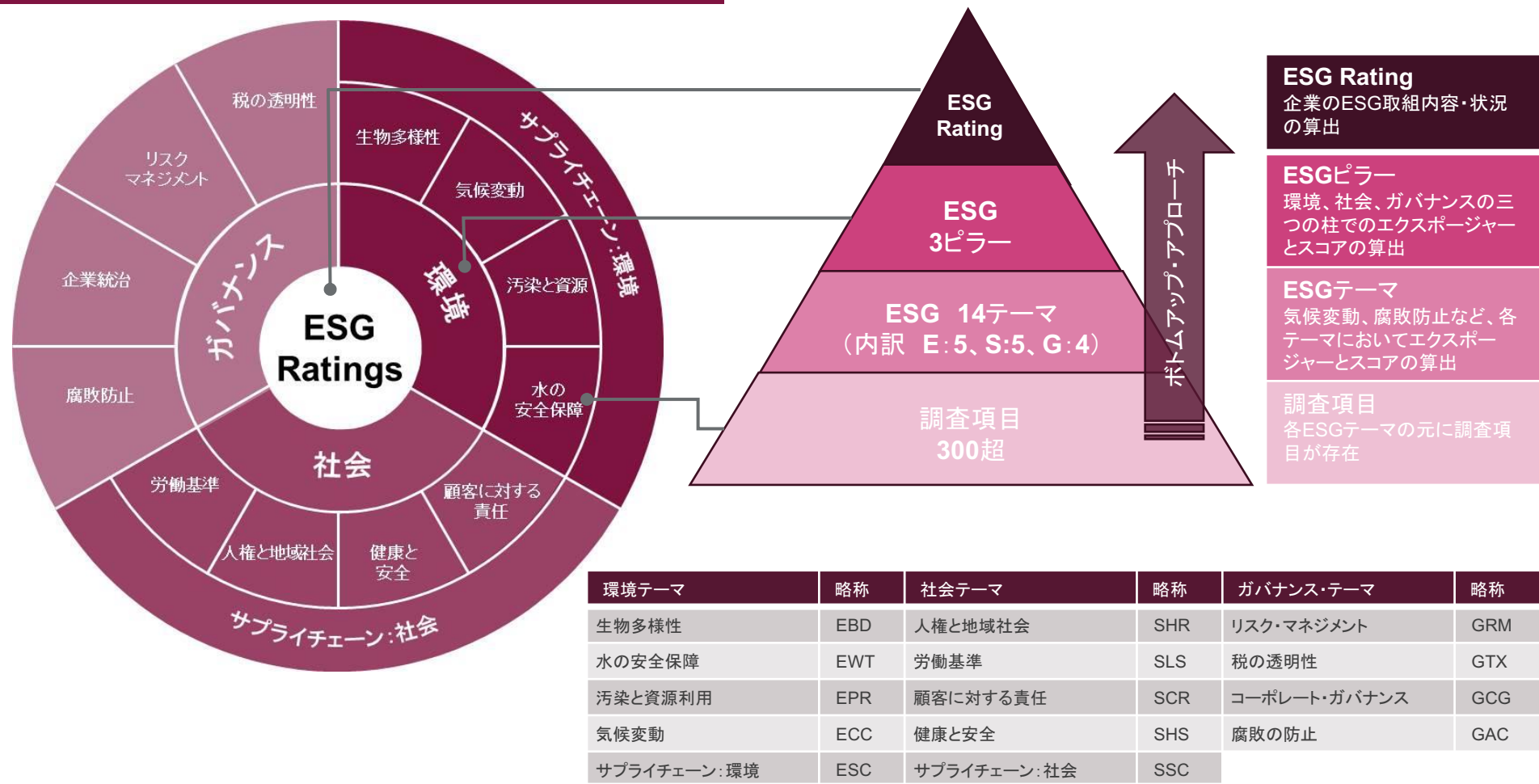
1. **ESG Ratings**の評価体系および評価手順
2. **FTSE4Good Index**ルールの更新
3. 日本を含む先進国の**ESG Ratings**の推移
4. **ESG Ratings**メソドロジーの改訂
5. **ESG Ratings**評価の読み方

付録1－3

1. ESG Ratingsの評価体系および評価手順

FTSE RussellのESG Ratingsの構造

事業活動における潜在的なESG リスク管理の評価



FTSEのESG Ratings算出に利用する情報源

日本語の読み書きができる調査員が調査項目に関連する公開資料を確認します。

その際、主に以下資料から関連する情報を確認しますが、これらに限定するものではありません。

参照先候補(例)

- 統合報告書/サステナビリティ・レポート
- CSR報告書/環境報告書
- コーポレート・ガバナンス報告書
- 有価証券報告書
- 議決権行使結果
- アニュアルレポート
- コンプライアンス・ハンドブック
- ウェブサイト全般

ESG Ratings調査サイクル、指数の構成銘柄選定

1社、1年に1回の調査
(4月～翌年2月)

調査員が公開情報により初期調査し、その結果は精査される。
なお、調査される時期は、基本的に決算期に依る

企業が事前に、該当する情報の開示のタイミングをFTSEに告知した場合、調査スケジュールは配慮される。

初期調査後、約4週間のレビュー期間(5月～翌年3月)

初期調査結果を企業に送付、フィードバックを受け付ける
(調査結果の修正依頼は公開情報に基づくものに限定)

企業からのフィードバックを受けて対応(5月～翌年3月)

企業からのフィードバックを踏まえ、調査員が追加調査の上、最終調査結果を決定

6月、12月のレーティング算出に向けて、最終調査の提出期限は3月と9月となっている。

年2回(6月末、12月末)、ESG Ratingsを公表

最終調査結果に基づきESG Ratingsを算出し、公表される

FTSE4Good指数等の構成銘柄を決定

ESG Ratingsに基づき、FTSE4Good指数等(FTSE Blossom Japan Indexを含む)の構成銘柄を選定

組み入れ基準を下回った既存の構成銘柄は、改善に向けた一定の猶予期間が設けられる。

2. FTSE4Good Indexルールの更新

FTSE4Good Index等の銘柄選定の閾値の変更

- 2019年12月から新規の組入閾値を適用
- ESG Ratingsが除外対象となる閾値に満たない(2.9未満)、もしくは高エクスポージャーでスコアが0の企業には、12カ月の猶予が与えられる
- 2020年6月にレビューされる企業が閾値に満たない場合には、2020年12月に再度レビューされる

| | 現在 | | 2019年12月 | |
|-----------------------------|---|-----|---|------------|
| | 先進国 | 新興国 | 先進国 | 新興国 |
| ESG 新規組入閾値 | 3.1 | 2.5 | 3.3 (+0.2) | 2.9 (+0.4) |
| ESG 除外対象となる閾値 | 2.7 | 2.1 | 2.9 (+0.2) | 2.4 (+0.3) |
| 高エクスポージャーかつ低スコアのESGテーマがある銘柄 | 新規組入銘柄: ESGテーマが高エクスポージャーでスコア0の場合は組入対象外 | N/A | 新規組入銘柄: 左記のとおり 既存組入銘柄: 高エクスポージャーでスコアが0の銘柄は除外対象 | 変更なし |

FTSE Blossom Japan Index

FTSE Japan Index

銘柄選定 (総合ESG評価にて3.3以上)*

E (気候変動、汚染と資源、生物多様性、水の安全保障、
サプライチェーン:環境)

S (顧客に対する責任、健康と安全、人権と地域社会、労働基準、
サプライチェーン:社会)

G (腐敗防止、コーポレートガバナンス、リスクマネジメント、税の透明性)

対FTSE Japan業種ニュートラル

親インデックス (FTSE Japan) と10業種の時価総額加重を同じウェイトに**

FTSE Blossom Japan Index

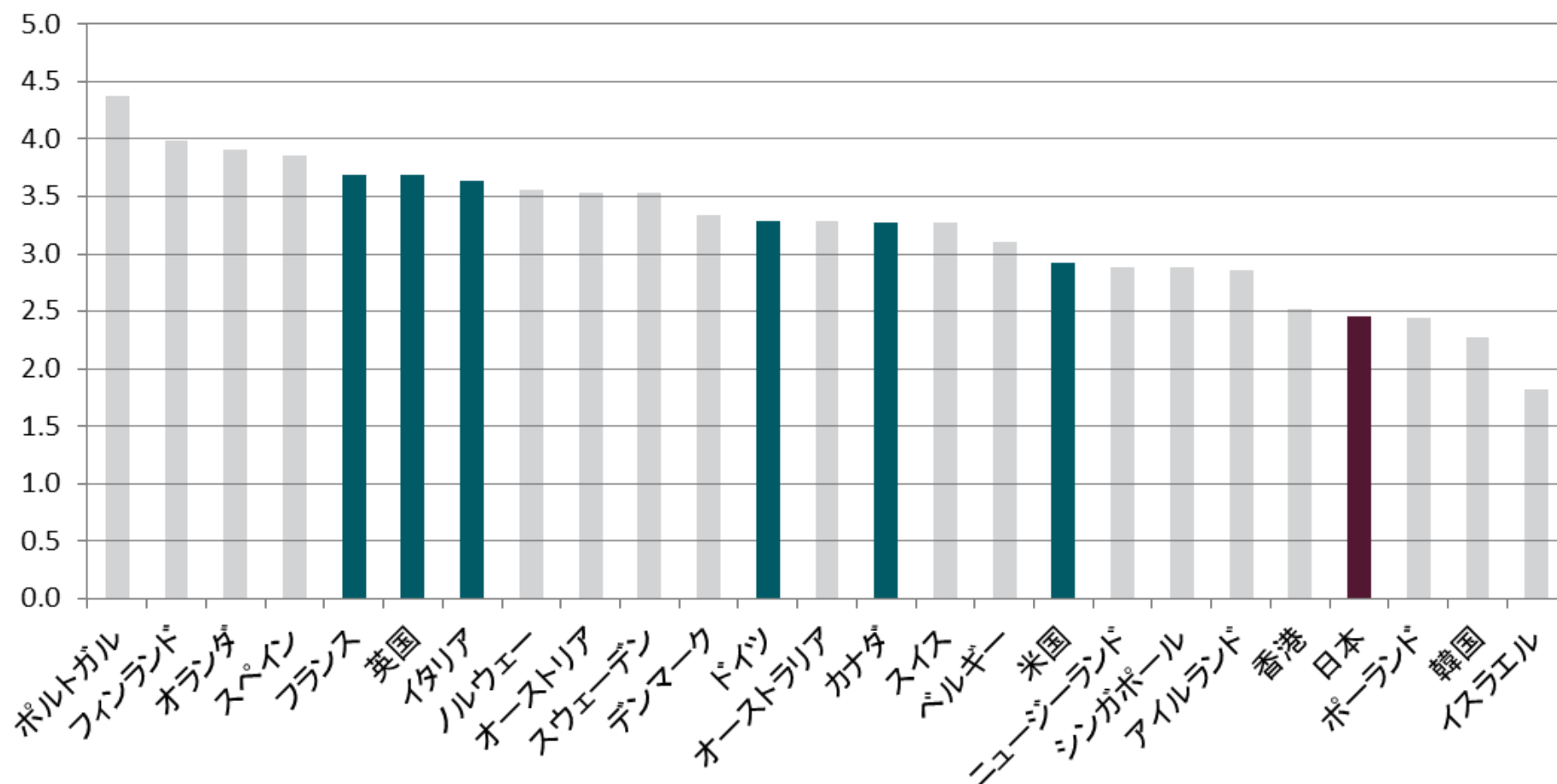
* ESGレーティングのモデルが2014年9月に改訂され、バッファが導入されています。2019年12月より、3.3以上が新規組み入れ、2.9未満が除外対象となります。

** 当インデックス内での一銘柄のウェイトは15%、およびFTSE Japan Indexの構成比の20倍を上限とする。

3. 日本を含む先進国のESG Ratingsの推移

ESG Ratings: 総合評価の国際比較

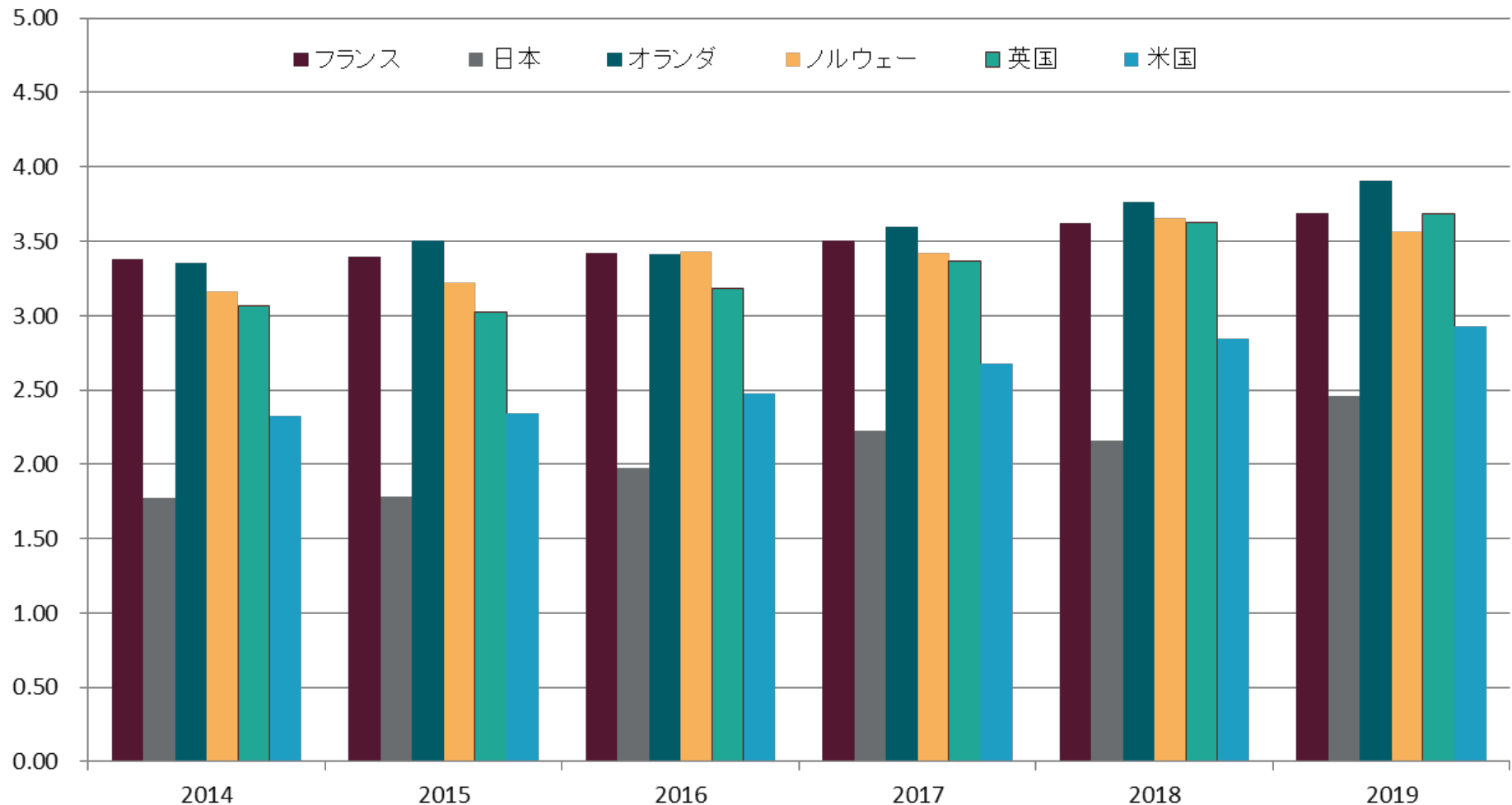
国別にESG Ratingの平均値を比較すると、日本は先進国の中で下から4番目、G7では最下位に位置づけられる(※注)



※注 各国の株式市場において時価総額が大型・中型に分類され、先進国株式指数であるFTSE Developed Indexの構成銘柄のみが評価対象。2019年6月28日時点での構成銘柄及びFTSE Russell ESG Ratings の総合評価情報を利用し、各国に属する企業の平均スコアの算出。

主要国別のESGスコアの時系列推移

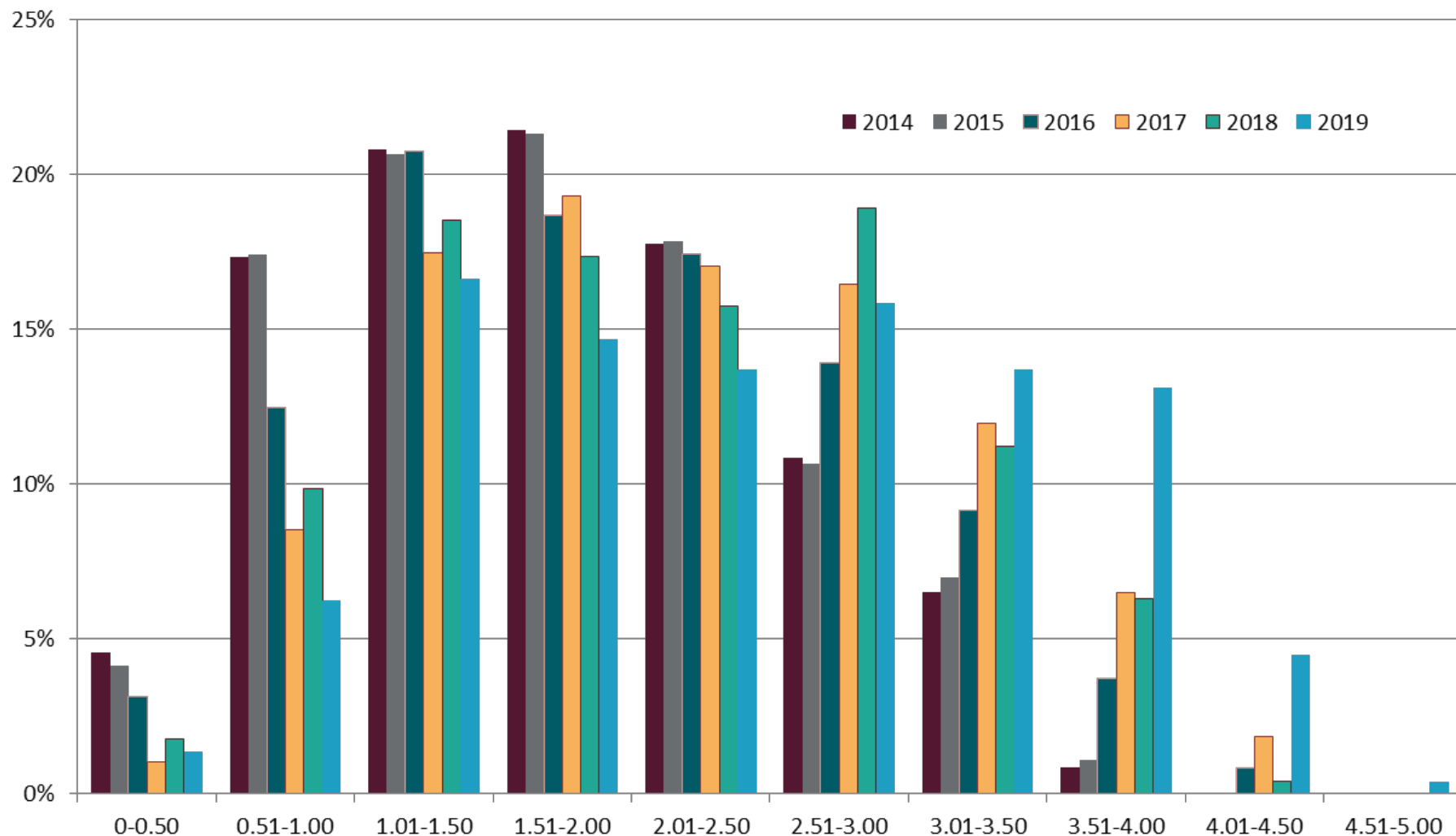
FTSE Developed Index



※注 各国の株式市場において時価総額が大型・中型に分類され、先進国株式指数であるFTSE Developed Indexの構成銘柄のみが評価対象。
各年6月末時点(2014年のみ9月末)での構成銘柄及びFTSE Russell ESG Ratings の総合評価情報を利用し、各国に属する企業の平均スコアを算出。

構成企業のESGスコア分布の時系列推移

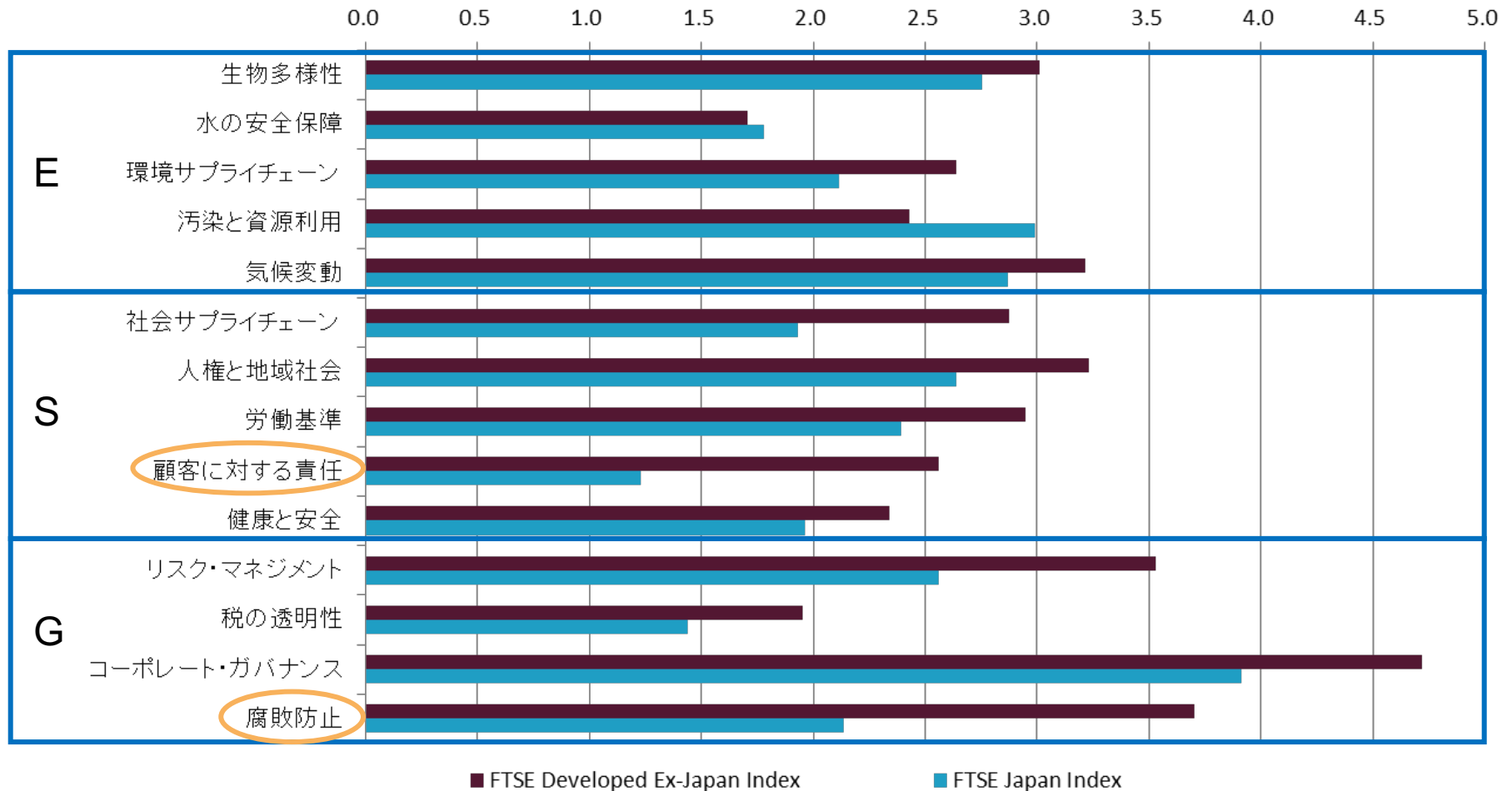
FTSE Japan Index



※注 FTSE Japan Indexの構成銘柄のみが評価対象。各年6月末時点(2014年のみ9月末)での構成銘柄およびFTSE Russell ESG Ratings の総合評価情報を利用し、日本企業の平均スコアを算出。

14テーマ: FTSE Japan vs FTSE Developed Ex-Japan

ESGテーマ別の平均スコア(※)の比較では、日本は、12のテーマで日本を除く先進市場の平均を下回った。特に、顧客に対する責任(SCR)と腐敗防止(GAC)において、大きく劣後している。



※ FTSE Developed Indexに組み込まれる時価総額において大型、中型と定義される構成銘柄を利用。2019年6月28日時点での構成銘柄およびFTSE Russell ESG Ratings のテーマ別スコア利用し、日本、および日本を除く先進市場のESGテーマごとの平均スコアを算出。

4. ESG Ratingsメソドロジーの改訂

ESG Ratingsのメソドロジー

メソドロジー構成

- 14あるESGテーマごとに章立て
- 各ESGテーマには20程度の調査項目が存在

評点の特徴

- 業種、活動地域により、各ESGテーマのエクスポージャー(リスク)を調整
- リスクが高いほど、回答必須の調査項目数が多くなる
- 各調査項目は原則、最大2点が付与
- 点数を積み上げることにより、各テーマのスコアが算出
- 調査項目の内容は国際基準等に基づき作成

Methodology

FTSE
Russell

ESG Data Model
6th Research Cycle (2019/20)



Version as at 31 May 2019

Published May 2019

ESG Ratingsメソドロジーの改訂

- FTSE Russellのメソドロジーは会計基準のように適宜更新される
- FTSE Russellでは、毎年、最新の動向に合わせ、14あるESGテーマ下の調査項目の内容を削除・更新
- 2018年は水の安全保障を中心に更新
 - 現状のままでは、2050年までに世界人口の半数以上が深刻な水資源の枯渇に直面
 - 水資源を利用する産業のみならず、サプライチェーンも影響を受けるため、水資源に関するリスクが投資家のリスク判断に入ってきている
 - 戦略やリスクマネジメントに関する調査項目や、CDPやWBCSDなどの国際基準などに基づき、影響を受ける産業を特定
- 2019年は人権と地域社会を中心に更新
 - 人権に関する議論や 直近の国際基準の内容の反映し、管理体制や責任の明確化、社員向け研修や認識共有などに関する調査項目を修正・追加

ESG メソドロジーの改訂概要(2019年度)

2019 – 2020 リサーチサイクル

環境ピラー

生物多様性
(EBD) 変更なし

水の安全保障
(EWT) 変更なし

汚染と資源利用
(EPR) 変更なし

気候変動
(ECC) TCFDに関する調査項目を一つ追加

サプライチェーン：環境
(ESC) 変更なし

社会ピラー

顧客に対する責任
(SCR) 変更なし

健康と安全
(SHS) 変更なし

人権と地域社会
(SHR) 最新の基準などを反映するため、更新
3つの新規の調査項目
4つの調査項目を更新

労働基準
(SLS) 変更なし

サプライチェーン：社会
(SSC) 変更なし

ガバナンスピラー

腐敗の防止
(GAC) 変更なし

コーポレート・ガバナンス
(GCG) 変更なし

リスク・マネジメント
(GRM) 変更なし

税の透明性
(GTX) ・調査項目を一つ削除
・テーマの適用について更新

人権と地域社会(SHR)テーマの更新

以下を含む最新の基準などを考慮するために、人権と地域社会テーマを更新



UN Guiding Principles on Business and Human Rights
Reporting Framework (2015)



SASB codified standards (2018)



GRI Standards (2018)



Corporate Human Rights Benchmark (2018)

人権と地域社会の調査項目の更新・変更

2018年度（2018-19RC）

| Indicator legend | Indicator description | Retain? |
|------------------|--|---------|
| SHR01 | Statement of support for treaties: a. A mention in passing b. Clear proactive statement of support | |
| SHR02 | Commitment to apply the UN GPs a. Statement addressing UN GPs b. Referred to in Policy/Principles/Code | |
| SHR10 | Human rights impact or risk assessment for: a. Potential new operations or projects b. Existing company operations or projects | |
| SHR11 | Stakeholder engagement to verify human rights risks and impacts: a. Evidence of consultation taking place b. Documented meetings and outcomes | |
| SHR20 | Grievance mechanisms: a. Formal mechanism b. Independent arbitration | |
| SHR13 | Actions taken following human rights violations: a. The number of incidents b. Action taken | |
| SHR14 | Participation in a recognized human rights related initiative or collaboration: a. Participating in workshops b. Being a formal member in an initiative | |

2019年度（2019-20RC）

| Indicator legend | Indicator description |
|------------------|---|
| SHR21 | Public commitment to respect human rights: a. Including reference to human rights instruments b. Application of UN GPs / OECD Guidelines |
| SHR22 | Identification of specific risks and impacts: a. Salient issues have been identified b. Commitment to engagement |
| SHR23 | Responsibility: a. Board or a senior executive b. Day-to-day responsibilities |
| SHR24 | Embedding commitments into corporate practice: a. Policy clearly communicated b. Staff training |
| SHR25 | Human rights risk assessment and mitigation: a. Ongoing risk assessment b. Mitigation actions taken |
| SHR11 | Stakeholder engagement on human rights risks and impacts: a. Evidence of consultation taking place b. Documented meetings and outcomes |
| SHR26 | Grievance mechanisms and remedy: a. Formal mechanism b. Commitment to remediation |
| SHR27 | Actions taken following human rights violations: a. Incidents disclosed b. Incident responses and learnings |

税の透明性テーマ(GTX)の更新

税の透明性テーマは大型株に分類される全企業に適用

- 同テーマは、新興国に所在する企業には初適用。ただし、移行期間を設定するため、ESG Ratingsの計算には利用せず、データ収集のみ
- 中型株および小型株に分類される企業には変更はない

| | 大型株 | 中型株 | 小型株 |
|-----|--------|--------------------|-----|
| 先進国 | すべての企業 | 多国籍企業かつ特定の国で活動する企業 | N/A |
| 新興国 | すべての企業 | N/A | N/A |

気候変動テーマ(ECC)の更新

CA100+や気候変動リスクへの対応を促すため、以下の調査項目が追加

ECC76

Does the company have a commitment to align disclosures to the recommendations of the Financial Stability Board's Task Force on Climate-related Financial Disclosures (TCFD)?

- a) The company commits to or currently aligns its disclosures to the TCFD recommendations
- b) The company is a listed TCFD Supporter

*This indicator will be applied to all companies.

5. ESG Ratings 評価の読み方

FTSE RussellのESG Ratings評価の流れ

Step 1. 企業の事業特性の把握

事業特性
(例)

業種

旅行・観光、ホテル

活動国

日本、インド、アラブ首長国連邦

収益構造

多国籍

Step 2.

業種と活動国により、14のESGテーマのうち、どのESGテーマに潜在リスクがあるか特定し、更にそのESGテーマはどのエクスポージャー・レベル(3段階)に該当するか判断

エクスポージャーレベル

高 3

中 2

低 1

n/a 0

Step 3.

潜在的リスクのあると特定した各ESGテーマにおける、企業の取組内容・対応を5段階のスコアで評価

スコア

5 ベストプラクティス

4

3 グッドプラクティス

2

1

0 開示なし

Step 4.

適用された各ESGテーマのエクスポージャーレベルおよびスコアを数式に当てはめて、ESG Ratingを算出

事業内容によるESGテーマの適用法

例:製薬事業も展開する食品メーカーA

| ICBサブセクター(産業名) | | 適応されるESGテーマとエクスポージャー・レベル | | |
|--------------------------|----------------------|--------------------------|----------|-------|
| テーマ名 | | 生物多様性 | 顧客に対する責任 | 腐敗の防止 |
| 第1事業 | 3577 Food Products | 中 | 高 | n/a |
| 第2事業 | 4577 Pharmaceuticals | n/a | 低 | 高 |
| 第1事業のみを考慮した場合の最終エクスポージャー | | 中 | 高 | n/a |
| 複数事業を考慮した場合の最終エクスポージャー | | 中 | 高 | 高 |

複数事業を考慮する場合の最終エクスポージャーは、事業別に適用されるエクスポージャー・レベルの高い方を採用

活動国を考慮した、企業のESG取組のスコアリング(1/2)

例: 水の安全保障(EWT)

| 業種 | | 活動国 | エクスポージャー・レベル | 企業B | | エクスポージャー・レベル |
|----------------------------|---|--|--------------|-----|--------|--------------|
| Primary Impact Subsector | <ul style="list-style-type: none"> ・533 石油・ガス探査 ・3573 農業・漁業・大規模農園 ・7577 水道 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域によらない | 高 | 業種 | 国 | 高 |
| | | | | ホテル | 日本、インド | |
| Secondary Impact Subsector | <ul style="list-style-type: none"> ・ 5753 ホテル | <ul style="list-style-type: none"> ・ インド ・ 韓国 ・ シンガポール ・ UAE | 中 | 企業C | | 中 |
| Secondary Impact Subsector | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記4カ国以外 | | 業種 | 国 | |
| | | | | ホテル | 日本 | |

活動国を考慮した、企業のESG取組のスコアリング(2/2)

例: 水の安全保障(EWT)

企業B(エクスポージャー・レベル高)

| 番号 | 調査項目のタイトル | エクスポージャー レベル | 取得可能な 最高評点 | 取組内容の 評価 |
|-------|------------|-----------------|-------------------|-------------|
| EWT13 | 水使用に関する方針 | 高 中 | 2 | 2 |
| EWT28 | 水関連リスクの財務化 | 高 中 | 2 | 2 |
| EWT32 | 3年間の取水量 | 高 中 | 2 | 0 |
| EWT07 | 第三者検証 | 高 | 2 | 0 |
| Total | | | 8 | 4 |
| | | | 評点割合(%) 4/8=50.0% | |

企業C(エクスポージャー・レベル中)

| 番号 | 調査項目のタイトル | エクスポージャー レベル | 取得可能な 最高評点 | 取組内容の 評価 |
|-------|------------|-----------------|-------------------|-------------|
| EWT13 | 水使用に関する方針 | 高 中 | 2 | 2 |
| EWT28 | 水関連リスクの財務化 | 高 中 | 2 | 2 |
| EWT32 | 3年間の取水量 | 高 中 | 2 | 0 |
| EWT07 | 第三者検証 | 高 | n/a | n/a |
| Total | | | 6 | 4 |
| | | | 評点割合(%) 4/6=66.7% | |

| | | エクスポージャーレベル | | |
|-----|---|-------------|---------|---------|
| | | 低 | 中 | 高 |
| スコア | 0 | N/A | 0% | 0% |
| | 1 | 0-5% | 1-5% | 1-10% |
| | 2 | 6-10% | 6-20% | 11-30% |
| | 3 | 11-30% | 21-40% | 31-50% |
| | 4 | 31-50% | 41-60% | 51-70% |
| | 5 | 51-100% | 61-100% | 71-100% |

| 番号 | Indicator Summary |
|--|--|
| EWT13 | 水の使用量を削減するための方針またはコミットメント a. 課題の特定 b. 水の使用量の削減または効率改善へのコミットメント |
| 各調査項目の評点は原則2点満点となっている。 EWT13を事例にすると、次の通りとなる: <ul style="list-style-type: none"> ➢ 0点 = 情報開示なし、行動なし。 ➢ 1点 = a) を実施 ➢ 2点 = a)およびb) を実施 | |

調査項目に付随するデータの見え方: 一例(1/2)



- エクスポートジャーレベルは各ESGテーマごとに決定(上図: 高は赤、中は黄、低は緑)
- その各ESGテーマごとに企業の取り組みが0-5でスコア付け
- E、S、G各ピラーごとにスコアを計算
- 最終のESG Ratingsが決定

調査項目に付随するデータの見え方: 一例(2/2)

| Indicator Code | Pillar/Theme/Indicator | Score/Response | Reference |
|----------------|--|--|---------------------------------|
| ⑤ | Environment | 3.6 | |
| ⑤ | Pollution & Resources | 4 | |
| ⑤ | EPR01 Policy or commitment on pollution a) Policy or commitment to address the issue b) Commitment to reduce or avoid the impact or improve efficiency | Partially Met Yes Not Disclosed | CSR 2014, pg 34 |
| ⑤ | EPR02 Policy or commitment on waste a) Policy or commitment to address the issue b) Commitment to reduce or avoid the impact or improve efficiency | Fully Met Yes Yes | CSR 2014, pg 35 |
| ⑤ | EPR03 Policy or commitment on resource use a) Policy or commitment to address the issue b) Commitment to reduce or avoid the impact or improve efficiency | Fully Met Yes Yes | AR 2014, pg 17 |
| ⑤ | EPR04 Time-specific targets, beyond regulatory requirements, to reduce or avoid pollution a) Unquantified, process targets b) Quantified targets | Not Disclosed Not Disclosed Not Disclosed | |
| ⑤ | EPR05 Time-specific targets, beyond regulatory requirements, to reduce or avoid waste a) Unquantified, process targets b) Quantified targets | Partially Met Yes Not Disclosed | CSR 2014, pg 41 |
| ⑤ | EPR06 Time-specific targets, beyond regulatory requirements, to reduce or avoid resource use a) Unquantified, process targets b) Quantified targets | Fully Met Yes Yes | CSR 2014, pg 50 |

企業の開示状況

調査結果の
ソース元

調査項目

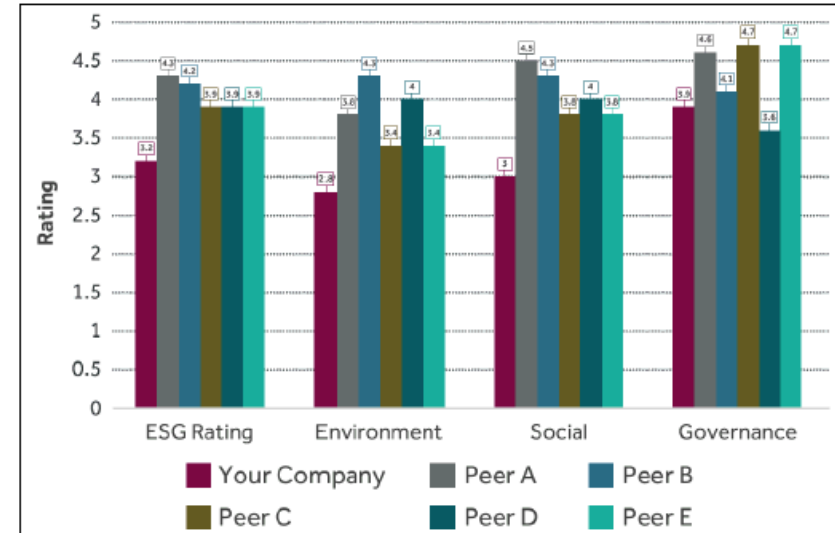
ご参考：同業他社比較 (Corporate Peer Comparison、CPC)

CPCのアクセス方法

- 企業レビューページにて参照することが可能

CPCの利用法

- 企業はCPCを用いて、ESG Ratingsを日本平均や業界平均との比較が可能(直近データのみ)
- また、同業他社との比較も可能
- 追加で、Green Revenuesのデータも参照することが可能



| Energy Generation | | Energy Equipment | Energy Management | Energy Efficiency |
|--|-------|---|-------------------------------------|-------------------------------------|
| EG01 – Bio Fuels | | EQ01 – Bio Fuels | EM01 – Combined Heat & Power | EE01 – Advanced Materials |
| EG02 – Clean Fossil Fuels | | EQ02 – Clean Fossil Fuels | EM02 – Controls | EE02 – Buildings & Property |
| EG03 – Geothermal | | EQ03 – Geothermal | EM03 – Fuel Cells | EE03 – Industrial Processes |
| EG04 – Hydro | | EQ04 – Hydro | EM04 – Integrated Energy Management | EE04 – Integrated Energy Efficiency |
| EG05 – Integrated Energy Generation | | EQ05 – Integrated Energy Equipment | EM05 – Logistics & Support | EE05 – IT Processes |
| EG06 – Nuclear | | EQ06 – Nuclear | EM06 – Power Storage | EE06 – Lighting |
| EG07 – Ocean & Tidal | | EQ07 – Ocean & Tidal | EM07 – Smart Grids | EE07 – Video Conferencing |
| EG08 – Solar | | EQ08 – Solar | | |
| EG09 – Waste to Energy | | EQ09 – Waste to Energy | 0.02% | |
| EG10 – Wind | | EQ10 – Wind | | |
| Environmental Infrastructure | | Environmental Resources | Modal Shift | Operational Shift |
| EI01 – Carbon Capture & Storage | | ER01 – Agriculture | MS01 – Aviation | OS01 – Finance & Investment |
| EI02 – Desalination | ND | ER02 – Aquaculture | MS02 – Integrated Modal Shift | OS02 – Integrated Operational Shift |
| EI03 – Flood Control & Land Erosion | 0.55% | ER03 – Integrated Environmental Resources | MS03 – Railways | OS03 – Retail & Wholesale |
| EI04 – Integrated Environmental Infrastructure | | ER04 – Mining | MS04 – Road Vehicles | OS04 – Property |
| EI05 – Logistics & Support | | ER05 – Minerals & Metals | MS05 – Shipping | |
| EI06 – Pollution Management | 0.06% | ER06 – Source Water | | |
| EI07 – Recyclable Products | | ER07 – Sustainable Forestry | | |
| EI08 – Recycling Services | 0.24% | | | |
| EI09 – Waste Management | 0.70% | | | |
| EI10 – Water Management | 0.33% | | | |

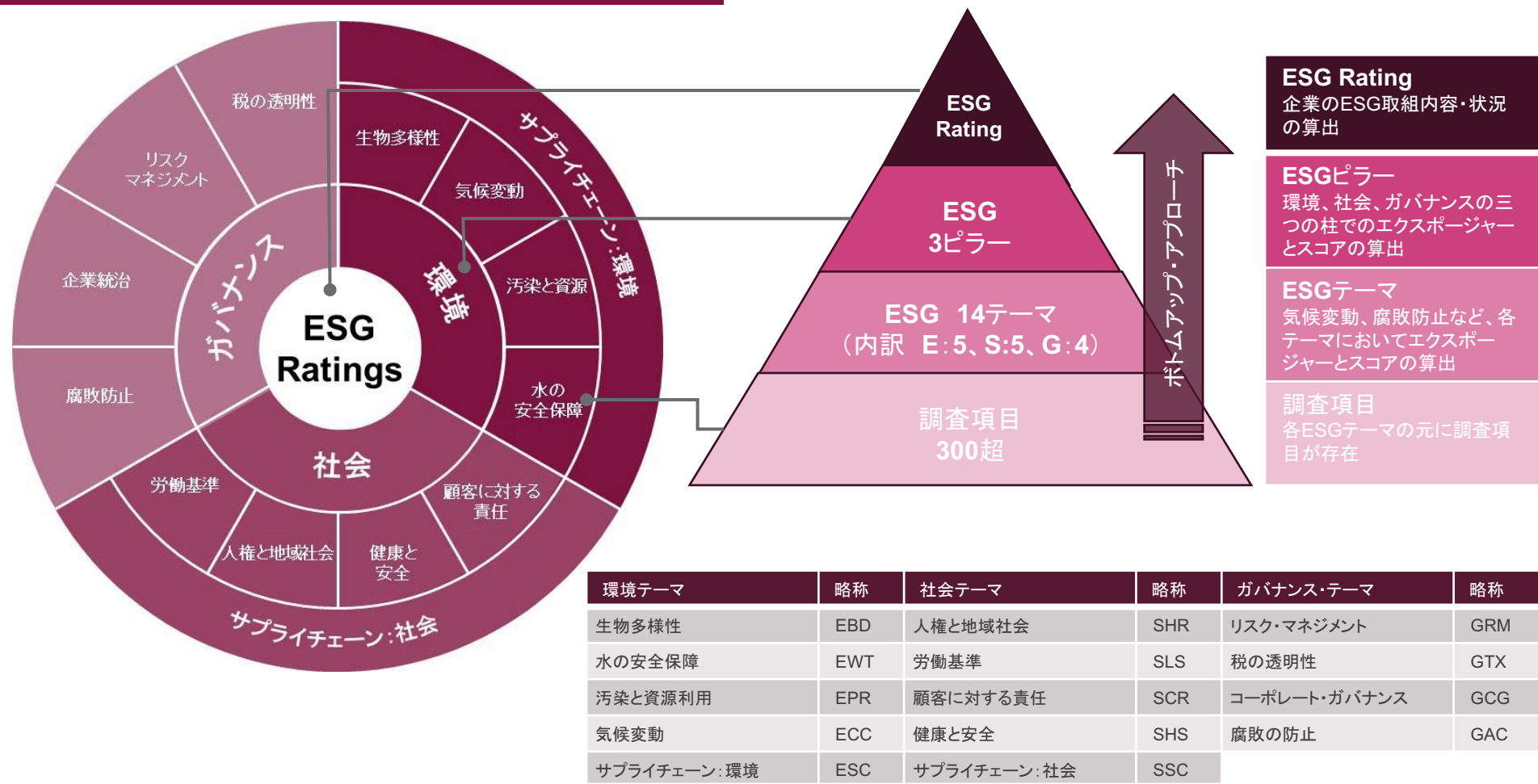
付録1: FTSE RussellのESG Ratings

FTSE RussellのESG Ratings: 主な特徴

| | |
|----|--|
| 1. | ESGリスク対応を評価 <u>潜在的ESGリスクに対する企業の対応内容・状況を評価(ESG収益機会の獲得については別手法で評価)</u> |
| 2. | 詳細な調査項目 14のESGテーマを設定し、総計300問以上の調査項目が存在 |
| 3. | 事業内容と活動国を考慮した適応テーマ (事業内容) <u>事業を多角化している企業には関連する全ESGテーマを適応</u> (活動国) 企業の活動国により、ESGリスク水準を調整(<u>テーマ別の活動国一覧を設定</u>) |
| 4. | 客観性の担保 ESGテーマ・調査項目は国際基準に基づき設定。また、客観性確保のため、独立性の高い委員会にて協議決定 |
| 5. | 高い透明性 <u>公開情報のみを評価する調査項目、ルール・ベースの評価軸、再現性の高い評価付与プロセス</u> |
| 6. | 調査・評価サイクル 年1回、約4,500社の企業を調査し、年2回、ESG Ratingsを算出(6月、12月) |

FTSE RussellのESG Ratingsの構造

事業活動における潜在的なESG リスク管理の評価



FTSE RussellのESG Ratings評価の流れ

Step 1.
企業の事業特性の把握

事業特性
(例)

業種

旅行・観光、ホテル

活動国

日本、インド、アラブ首長国連邦

収益構造

多国籍

Step 2.

業種と活動国により、14のESGテーマのうち、どのESGテーマに潜在リスクがあるか特定し、更にそのESGテーマはどのエクスポージャー・レベル(3段階)に該当するか判断

エクスポージャーレベル

高

3

中

2

低

1

n/a

0

Step 3.

潜在的リスクがあると特定した各ESGテーマにおける、企業の取組内容・対応を5段階のスコアで評価

スコア

5

ベストプラクティス

4

3

グッドプラクティス

2

1

0

開示なし

Step 4.

適用された各ESGテーマのエクスポージャーレベルおよびスコアを数式に当てはめて、ESG Ratingを算出

事業内容によるESGテーマの適用法

例:製薬事業も展開する食品メーカーA

| ICBサブセクター(産業名) | | 適応されるESGテーマとエクスポージャー・レベル | | |
|--------------------------|----------------------|--------------------------|----------|-------|
| テーマ名 | | 生物多様性 | 顧客に対する責任 | 腐敗の防止 |
| 第1事業 | 3577 Food Products | 中 | 高 | n/a |
| 第2事業 | 4577 Pharmaceuticals | n/a | 低 | 高 |
| 第1事業のみを考慮した場合の最終エクスポージャー | | 中 | 高 | n/a |
| 複数事業を考慮した場合の最終エクスポージャー | | 中 | 高 | 高 |

複数事業を考慮する場合の最終エクスポージャーは、事業別に適用されるエクスポージャー・レベルの高い方を採用

活動国を考慮した、企業のESG取組のスコアリング(1/2)

例: 水の安全保障(EWT)

| 業種 | | 活動国 | エクスポージャー・レベル | 企業B | | エクスポージャー・レベル |
|----------------------------|---|--|--------------|-----|--------|--------------|
| Primary Impact Subsector | <ul style="list-style-type: none"> ・533 石油・ガス探査 ・3573 農業・漁業・大規模農園 ・7577 水道 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域によらない | 高 | 業種 | 国 | エクスポージャー・レベル |
| | | | | ホテル | 日本、インド | 高 |
| Secondary Impact Subsector | <ul style="list-style-type: none"> ・ 5753 ホテル | <ul style="list-style-type: none"> ・ インド ・ 韓国 ・ シンガポール ・ UAE | 中 | 企業C | | エクスポージャー・レベル |
| Secondary Impact Subsector | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記4カ国以外 | | 業種 | 国 | エクスポージャー・レベル |
| | | | | ホテル | 日本 | 中 |

活動国を考慮した、企業のESG取組のスコアリング(2/2)

例: 水の安全保障(EWT)

企業B(エクスポージャー・レベル高)

| 番号 | 調査項目のタイトル | エクスポージャー レベル | 取得可能な 最高評点 | 取組内容の 評価 |
|-------|------------|-----------------|-------------------|-------------|
| EWT13 | 水使用に関する方針 | 高 中 | 2 | 2 |
| EWT28 | 水関連リスクの財務化 | 高 中 | 2 | 2 |
| EWT32 | 3年間の取水量 | 高 中 | 2 | 0 |
| EWT07 | 第三者検証 | 高 | 2 | 0 |
| Total | | | 8 | 4 |
| | | | 評点割合(%) 4/8=50.0% | |

企業C(エクスポージャー・レベル中)

| 番号 | 調査項目のタイトル | エクスポージャー レベル | 取得可能な 最高評点 | 取組内容の 評価 |
|-------|------------|-----------------|-------------------|-------------|
| EWT13 | 水使用に関する方針 | 高 中 | 2 | 2 |
| EWT28 | 水関連リスクの財務化 | 高 中 | 2 | 2 |
| EWT32 | 3年間の取水量 | 高 中 | 2 | 0 |
| EWT07 | 第三者検証 | 高 | n/a | n/a |
| Total | | | 6 | 4 |
| | | | 評点割合(%) 4/6=66.7% | |

| | | エクスポージャーレベル | | |
|-----|---|-------------|---------|---------|
| | | 低 | 中 | 高 |
| スコア | 0 | N/A | 0% | 0% |
| | 1 | 0-5% | 1-5% | 1-10% |
| | 2 | 6-10% | 6-20% | 11-30% |
| | 3 | 11-30% | 21-40% | 31-50% |
| | 4 | 31-50% | 41-60% | 51-70% |
| | 5 | 51-100% | 61-100% | 71-100% |

| 番号 | Indicator Summary |
|--|--|
| EWT13 | 水の使用量を削減するための方針またはコミットメント a. 課題の特定 b. 水の使用量の削減または効率改善へのコミットメント |
| 各調査項目の評点は原則2点満点となっている。 EWT13を事例にすると、次の通りとなる: <ul style="list-style-type: none"> ➢ 0点 = 情報開示なし、行動なし。 ➢ 1点 = a) を実施 ➢ 2点 = a)およびb) を実施 | |

適用されたESGテーマ別のスコア算出例(1/4)

| | ESG重要テーマ | 略称 | エクスポージャー (高、中、低、n/a) | 評点割合 (%) | テーマスコア (0-5) |
|---|--------------|-----|-------------------------|-------------|-----------------|
| E | 生物多様性 | EBD | n/a(0) | n/a | n/a(0) |
| | 水の安全保障 | EWT | 高(3) | 50% | 3 |
| | サプライチェーン(環境) | ESC | 高(3) | 35% | 3 |
| | 汚染と資源利用 | EPR | 高(3) | 58% | 4 |
| | 気候変動 | ECC | 中(2) | 17% | 2 |
| S | サプライチェーン(社会) | SSC | 高(3) | 43% | 3 |
| | 人権と地域社会 | SHR | 中(2) | 3% | 1 |
| | 労働基準 | SLS | 高(3) | 12% | 2 |
| | 顧客に対する責任 | SCR | n/a(0) | n/a | n/a(0) |
| | 健康と安全 | SHS | n/a(0) | n/a | n/a(0) |
| G | リスク・マネジメント | GRM | n/a(0) | n/a | n/a(0) |
| | 税の透明性 | GTX | 中(2) | 9% | 1 |
| | コーポレート・ガバナンス | GCG | 中(2) | 38% | 3 |
| | 腐敗の防止 | GAC | 中(2) | 0% | 0 |

ESGピラー・エクスポージャーの算出例(2/4)

ピラー・エクスポージャーは、適用される「テーマ」の単純平均により算出

| | テーマ | エクスポージャー レベル (0-3) | | | |
|-----|-----|-----------------------|-----------------------|---|------|
| Env | EBD | n/a(0) | 環境ピラー エクスポージャー | $\frac{(0_{EBDex} + 3_{EWTex} + 3_{ESCex} + 3_{EPRex} + 2_{ECCex})}{4 \text{適用される環境テーマの数}} =$ | 2.75 |
| | EWT | 3 | | | |
| | ESC | 3 | | | |
| | EPR | 3 | | | |
| | ECC | 2 | | | |
| Soc | SSC | 3 | 社会ピラー エクスポージャー | $\frac{(3_{SSCex} + 2_{SHRex} + 3_{SLSex} + 0_{SCRex} + 0_{SHSex})}{3 \text{適用される社会テーマの数}} =$ | 2.67 |
| | SHR | 2 | | | |
| | SLS | 3 | | | |
| | SCR | n/a(0) | | | |
| | SHS | n/a(0) | | | |
| Gov | GRM | n/a(0) | ガバナンス ピラー エクスポージャー | $\frac{(0_{GRMex} + 2_{GTXex} + 2_{GCGex} + 2_{GACex})}{3 \text{適用されるガバナンステーマの数}} =$ | 2.0 |
| | GTX | 2 | | | |
| | GCG | 2 | | | |
| | GAC | 2 | | | |

ESGピラー・スコアの算出例(3/4)

ピラースコアは、適用されるテーマのスコアをエクスポージャーで加重平均して算出

例えば、エクスポージャーが高い(3)テーマは、低い(1)テーマに比べ、3倍のウェイトになる

| | テーマ | エクスポージャー (0-3) | スコア (0-5) | | | |
|-----|-----|-------------------|--------------|----------|--|------|
| | | | | | | |
| Env | EBD | 0 | 0 | E スコア | $\frac{(0_{EBDex} \times 0_{EBDsc} + 3_{EWTex} \times 3_{EWTsc} + 3_{ESCex} \times 3_{ESCsc} + 3_{EPRex} \times 4_{EPRsc} + 2_{ECCex} \times 2_{ECCsc})}{(0_{EBDex} + 3_{EWTex} + 3_{ESCex} + 3_{EPRex} + 2_{ECCex})} =$ | 3.09 |
| | EWT | 3 | 3 | | | |
| | ESC | 3 | 3 | | | |
| | EPR | 3 | 4 | | | |
| | ECC | 2 | 2 | | | |
| Soc | SSC | 3 | 3 | S スコア | $\frac{(3_{SSCex} \times 3_{SSCsc} + 2_{SHRex} \times 1_{SHRsc} + 3_{SLSex} \times 2_{SLSsc} + 0_{SCRex} \times 0_{SCRsc} + 0_{SHSex} \times 0_{SHSsc})}{(3_{SSCex} + 2_{SHRex} + 3_{SLSex} + 0_{SCRex} + 0_{SHSex})} =$ | 2.12 |
| | SHR | 2 | 1 | | | |
| | SLS | 3 | 2 | | | |
| | SCR | 0 | 0 | | | |
| | SHS | 0 | 0 | | | |
| Gov | GRM | 0 | 0 | G スコア | $\frac{(0_{GRMex} \times 0_{GRMsc} + 2_{GTXex} \times 1_{GTXsc} + 2_{GCGex} \times 3_{GCGsc} + 2_{GACex} \times 0_{GACsc})}{(0_{GRMex} + 2_{GTXex} + 2_{GCGex} + 2_{GACex})} =$ | 1.33 |
| | GTX | 2 | 1 | | | |
| | GCG | 2 | 3 | | | |
| | GAC | 2 | 0 | | | |

ESG Ratingの算出例(4/4)

ESG Rating(5点満点)はESGの各ピラスコアをESGエクスポージャーで加重平均し算出

エクスポージャー・レベルが中(2)のピラーは、低い(1)ピラーの2倍のウェイトになる

| ピラー | エクスポージャー (0-3) | スコア (0-5) |
|---------------|-------------------|--------------|
| Environmental | 2.75 | 3.09 |
| Social | 2.67 | 2.12 |
| Governance | 2.00 | 1.33 |

$$\frac{(2.75_{ENVex} \times 3.09_{ENVsc} + 2.67_{SOCex} \times 2.12_{SOCsc} + 2.00_{GOVex} \times 1.33_{GOVsc})}{(2.75_{ENVex} + 2.67_{SOCex} + 2.00_{GOVex})}$$

=

ESG
Rating

2.26

付録2: 国際基準のインテグレーション

What Criteria? 既存の国際枠組みとの整合性

| E (環境) | | S (社会) | | G (ガバナンス) | |
|----------|--|------------|--|-----------|---|
| 気候変動 | CDP, EU Emission Standards SEC Rules for Reserves Reporting | 健康と安全 | Global Business Coalition for Health/ IAEA, BSI | 腐敗防止 | Transparency International World Bank, UNGC 10 |
| 水の安全保障 | CDP – Water Program CEO Water Mandate | 労働基準 | UN Global Compact ILO Core Conventions | 税の透明性 | Action Aid Tax Guide for Investors Fair Tax Mark |
| 生物多様性 | TEEB – The Economics of Ecosystems & Biodiversity | 人権と地域社会 | Ruggie Principles Children's Rights & Business Principles | リスク管理 | Salz Review Institute for Risk Management |
| 汚染と資源利用 | ISO14001 EMAS | 顧客への責任 | Access to Medicine/ Nutrition CFA Lending Code | 企業統治 | OECD Principles of Corporate Governance, ICGN, FRC |
| 環境サプライヤー | GRESB, BREEAM, SEDEX, RSPO | 社会サプライチェーン | PRI, PSI, Equator Principles GRESB, SEDEX, ETI | | |

FTSE Russell's ESG Ratingsを通じたSDGs(持続可能な開発目標)への対応①

| | | 1. NO POVERTY | 2. ZERO HUNGER | 3. GOOD HEALTH AND WELL BEING | 4. QUALITY EDUCATION | 5. GENDER EQUALITY | 6. CLEAN WATER AND SANITATION | 7. AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY | 8. DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH | 9. INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE |
|---------------------|------------------------------|------------------|-------------------|-------------------------------------|----------------------------|--------------------------|--|---|--|---|
| Environmental | Bio-diversity | | ● | | | | | | | |
| | Climate Change | | ● | | | | | ● | | |
| | Pollution & Resources | | | ● | | | ● | | ● | ● |
| | Supply Chain (Environmental) | | ● | ● | | | ● | ● | ● | ● |
| | Water Use | | | | | | ● | | | |
| Social | Customer Responsibility | ● | ● | ● | | | | | ● | |
| | Health & Safety | | | ● | | | | | | |
| | Human Rights & Community | ● | | | | | | | | |
| | Labor Standards | ● | | | ● | ● | | | ● | |
| | Supply Chain (Social) | ● | ● | | | ● | | | ● | |
| Governance | Anti-corruption | | | | | | | | | |
| | Corporate Governance | | | | | ● | | | | |
| | Risk Management | | | | | | | | | |
| | Tax Responsibility | | | | | | | | | |
| Total ESG framework | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |

1. End poverty in all its forms everywhere
2. End hunger, achieve food security and improved nutrition and promote sustainable agriculture
3. Ensure healthy lives and promote well-being for all at all ages
4. Ensure inclusive and equitable quality education and promote lifelong learning opportunities for all
5. Achieve gender equality and empower all women and girls
6. Ensure availability and sustainable management of water and sanitation for all
7. Ensure access to affordable, reliable, sustainable and modern energy for all
8. Promote sustained, inclusive and sustainable economic growth, full and productive employment and decent work for all
9. Build resilient infrastructure, promote inclusive and sustainable industrialization and foster innovation

Source: SDGs from UN Sustainable Development Goals website and matrix developed by FTSE Russell

FTSE Russell's ESG Ratingsを通じたSDGs(持続可能な開発目標)への対応②

| | | 10. REDUCED INEQUALITIES | 11. SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES | 12. RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION | 13. CLIMATE ACTION | 14. LIFE BELOW WATER | 15. LIFE ON LAND | 16. PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS | 17 PARTNERSHIPS FOR THE GOALS |
|---------------------|------------------------------|--------------------------------|---|---|-----------------------|----------------------------|---------------------|---|-------------------------------------|
| Environmental | Bio-diversity | | | | | ● | ● | | ● |
| | Climate Change | | | | ● | | | | ● |
| | Pollution & Resources | | | ● | | | | | ● |
| | Supply Chain (Environmental) | | | ● | ● | ● | ● | | ● |
| | Water Use | | | | | | | | ● |
| Social | Customer Responsibility | ● | | | | | | | ● |
| | Health & Safety | | | | | | | | |
| | Human Rights & Community | | | | | | | ● | ● |
| | Labor Standards | ● | | | | | | ● | ● |
| | Supply Chain (Social) | ● | ● | | ● | | ● | ● | ● |
| Governance | Anti-corruption | | | | | | | ● | |
| | Corporate Governance | | | | | | | | |
| | Risk Management | | ● | | | | | | |
| | Tax Responsibility | | | | | | | ● | ● |
| Total ESG framework | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |

10. Reduce inequality within and among countries

11. Make cities and human settlements inclusive, safe, resilient and sustainable

12. Ensure sustainable consumption and production patterns

13. Take urgent action to combat climate change and its impacts*

14. Conserve and sustainably use the oceans, seas and marine resources for sustainable development

15. Protect, restore and promote sustainable use of terrestrial ecosystems, sustainably manage forests, combat desertification, and halt and reverse land degradation and halt biodiversity loss

16. Promote peaceful and inclusive societies for sustainable development, provide access to justice for all and build effective, accountable and inclusive institutions at all levels

17. Strengthen the means of implementation and revitalize the global partnership for sustainable development

Source: SDGs from UN Sustainable Development Goals website and matrix developed by FTSE Russell

投資家・社会動向に合わせたテーマの設定と改訂

例: TCFD Recommendationに沿ったESG評価軸の更新



TCFD の主要素

●ガバナンス

気候関連リスク及び機会に関する当該組織のガバナンス

●戦略

当該組織のビジネス・戦略・財務計画に対する気候関連リスク及び機会の実際の及び潜在的影響

●リスク管理

当該組織が気候関連リスクを識別・評価・管理するために用いるプロセス

●指標及び目標

気候関連リスク及び機会を評価・管理するのに使用する指標及び目標

FTSE RussellのESG評価: 気候変動テーマの事例

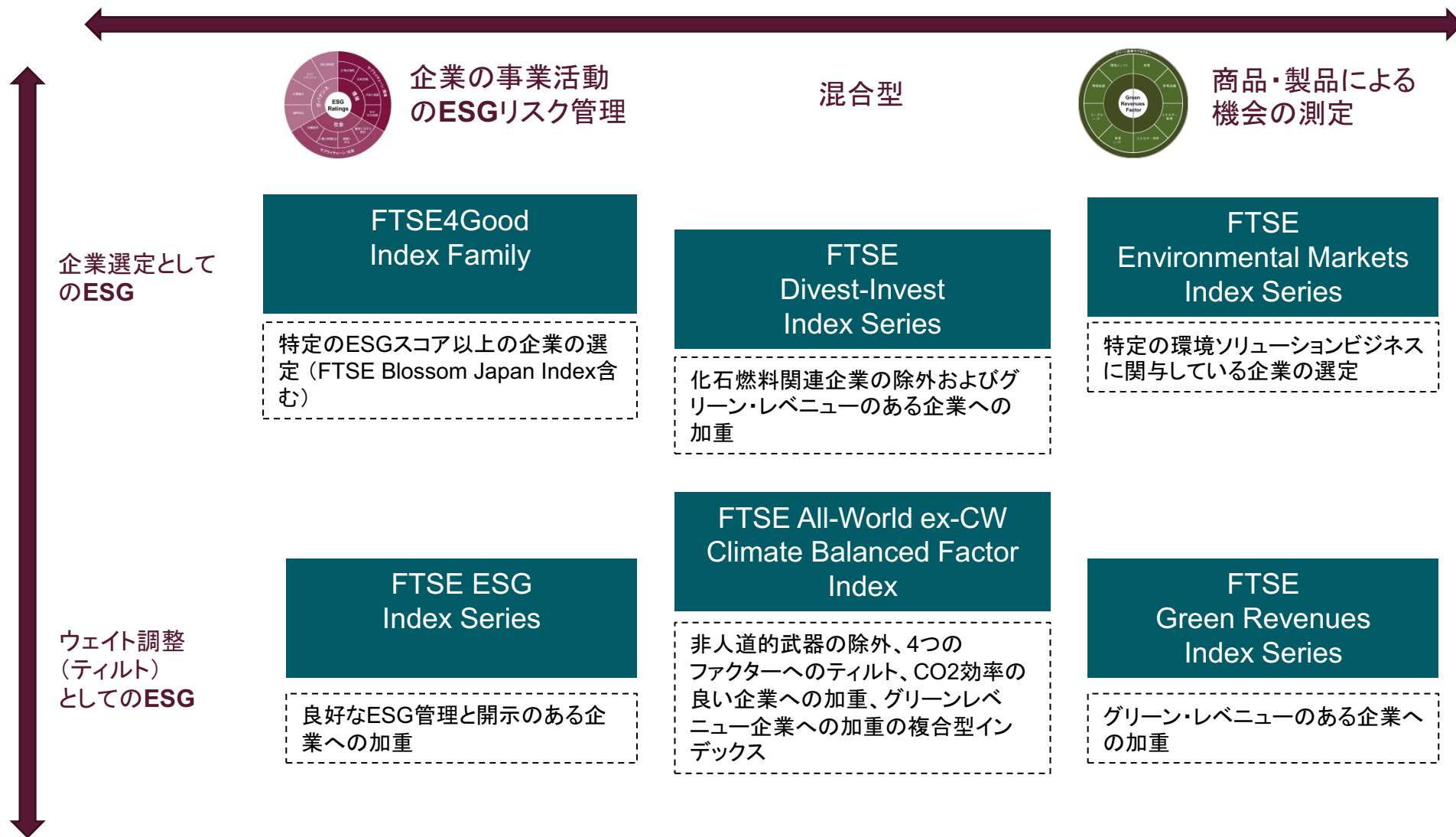
- 取締役会による気候変動への監督
- 気候変動の影響に関する方針
- 気候シナリオ計画
- 気候変動リスクと機会が財務計画に与える影響
- 気候関連リスクの全社的リスク管理プロセスへの統合
- 短期・中期の目標
- 気候変動に関するコスト/研究開発の財務数値化
- GHG排出量および原単位の開示

Source: FTSE Russell

Final Report Recommendations of the Task Force <https://www.fsb-tcf.org/wp-content/uploads/2017/06/FINAL-TCFD-Report-062817.pdf>

付録3: ESGデータおよび指数の活用例

インデックスへのESG インテグレーション: 多様なニーズへの対応



Source: FTSE Russell.

ESG を考慮したインデックス運用

Vanguard Australia selects new FTSE Russell index for values-aligned ETF and index fund

- FTSE Russell launches new values-aligned index for two ESG-related investment products
- Indexes help investors align with 'building block' approach to ESG
- Clear and simple exclusion of weapons, tobacco, and fossil fuels
- FTSE Developed ex Australia Products/Weapons Index series
- Tracked by the Vanguard ESG Index Fund and ETF
- c.\$650 billion ETF AuM link

FTSE Russell, the global index provider, is delighted to launch a new values-aligned index for two ESG-related investment products. The first FTSE Russell standard index family to its design. Increasingly, investors are looking to see if companies' products and conduct on society and the environment can construct bespoke 'Choice' indexes using an approach with their particular values and investment objectives.

Taiwan Bureau of Labor Funds selects FTSE4Good TIP Taiwan ESG Index for \$1.4 billion mandate

- BLF first fund to track FTSE4Good TIP Taiwan ESG Index
- BLF has issued a 5-year portfolio mandate of USD \$1.4 billion
- Growing demand for sustainable investment index
- FTSE4Good TIP Taiwan ESG Index is part of FTSE4Good TIP Taiwan ESG Index

FTSE Russell, the global index and data provider, today announces the creation of a new index, the FTSE4Good TIP Taiwan ESG Index, one of the largest public-sector fund mandates. BLF has issued a significant new equity mandate. BLF has issued a significant new equity mandate. BLF has issued a significant new equity mandate.

The FTSE4Good TIP Taiwan ESG Index was launched with Taiwan Stock Exchange's (TWSE) wholly owned FTSE4Good TIP Taiwan ESG Index is part of FTSE4Good TIP Taiwan ESG Index offering and reflects the performance of companies recognised ESG inclusion standards used by the FTSE4Good TIP Taiwan ESG Index.

Asset Management One selects FTSE Blossom Japan index for ESG ETF

- ESG ETF listed on Tokyo Stock Exchange
- Asset Management One (AM-One) selects FTSE Blossom Japan index for ESG ETF
- FTSE Blossom Japan index data model

FTSE Russell, the global index and data provider, today announces the creation of a new index, the FTSE Blossom Japan index. The Government Pension Investment Fund (GPIF) of Japan has selected the index as a core ESG benchmark through its flagship fund. GPIF is the largest pension fund in the world with over \$1.3tn* in assets.

ESG is becoming an increasingly popular investment approach. AM-One will offer an investment opportunity to investors looking to integrate ESG considerations into their investment strategy.

The FTSE Blossom Japan Index is constructed using FTSE Russell's ESG Ratings data model, which draws on existing international ESG standards, including the UN Sustainable Development Goals. The inclusion thresholds are aligned with the globally established FTSE4Good Index Series. The index can be used to assist in the integration of ESG considerations into a diversified strategy. The index does not deviate significantly from the index characteristics of its traditional market capitalization weighted benchmark. To minimise industry bias, the index has been designed using an industry-neutral weighting approach to match the industry weights in the underlying FTSE Japan Index.

World's largest pension fund selects new FTSE Russell ESG index

- FTSE Russell launches new FTSE Blossom Japan Index
- The Government Pension Investment Fund (GPIF) of Japan selects FTSE Blossom Japan Index
- FTSE Russell collaborating with GPIF to promote stewardship and high standards of corporate ESG performance and disclosure
- Growing trend among asset owners to integrate ESG considerations into passive investment strategies


FTSE Russell, the global index provider, today announces the creation of a new index, the FTSE Blossom Japan index. The Government Pension Investment Fund (GPIF) of Japan has selected the index as a core ESG benchmark through its flagship fund. GPIF is the largest pension fund in the world with over \$1.3tn* in assets.

The new FTSE Blossom Japan Index is constructed using FTSE Russell's ESG Ratings data model, which draws on existing international ESG standards, including the UN Sustainable Development Goals. The inclusion thresholds are aligned with the globally established FTSE4Good Index Series. The index can be used to assist in the integration of ESG considerations into a diversified strategy. The index does not deviate significantly from the index characteristics of its traditional market capitalization weighted benchmark. To minimise industry bias, the index has been designed using an industry-neutral weighting approach to match the industry weights in the underlying FTSE Japan Index.





FTSE Russell is responding to a growing trend among asset owners to integrate ESG considerations into passive investments, with GPIF the latest pension fund to select a FTSE Russell index. This trend is increasing transparency and disclosure in the capital markets with investors collaborating to improve company engagement and corporate performance.

Source: FTSE Russell

気候変動における投資家の協働イニシアチブ



In partnership with:



[About](#) ▾ [TPI Tool](#) ▾ [Methodology](#) ▾ [Publications](#) ▾ [News](#)

[Sign-up](#) ▾ [Contact us](#)

Overview of the TPI


The Transition Pathway Initiative (TPI) is a global initiative led by asset owners and supported by asset managers. Aimed at investors and free to use, it assesses companies' preparedness for the transition to a low-carbon economy, supporting efforts to address climate change.

Using publicly disclosed company information sourced and provided by TPI's data partner, [FTSE Russell](#), it:

- Evaluates and tracks the quality of companies' management of their greenhouse gas emissions and of risks and opportunities related to the low-carbon transition;
- Evaluates how companies' planned or expected future carbon performance compares to international targets and national pledges made as part of the Paris Agreement;
- Publishes online the results of this analysis through a publicly-available tool hosted by its academic partner, the [Grantham Research Institute on Climate Change and the Environment](#) at the [London School of Economics and Political Science \(LSE\)](#).

Launched January 2017, the TPI is already supported by asset owners with over £7 / \$9.3 trillion* assets under management. They have committed to using it in a range of ways, including to inform their investment research, in engagement with companies and in tracking managers' holdings.

The TPI complements existing initiatives and frameworks, by aligning with prevailing disclosure initiatives and with investors climate change and sustainability expectations. It is also being aligned with the requirements of the [Task Force on Climate-related Financial Disclosures](#) (TCFD).



Launch of the Transition Pathway Initiative at the London Stock Exchange

Filter by sector

Oil & Gas

Submit

Clear all

Go straight to a company

Choose a company

Filter companies

Management Quality: Oil & Gas

| Level 0 Unaware | Level 1 Awareness | Level 2 Building capacity | Level 3 Integrating into operational decision making | Level 4 Strategic assessment |
|--------------------|--|---|--|--|
| No companies | Andeavor Concho Resources Diamondback Energy Petrochina Rosneft Oil TATNEFT | Anadarko Petroleum ↑ Apache Chevron China Petroleum & Chemical CNOOC Encana EOG Resources ↑ | Canadian Natural Resources ↑ ConocoPhillips ↑ Devon Energy ↑ Ecopetrol Hess JXTG Lukoil OMV | BP ↑ Cenovus Energy Eni Equinor Repsol Royal Dutch Shell Total ↑ Woodside Petroleum |

Source: Grantham Institute website as of August 2018 <http://www.lse.ac.uk/GranthamInstitute/tpi>

企業のESG戦略支援

Press Release

08 March 2017

FTSE
Russell



FTSE Russell ESG selected by KPMG

- KPMG AZSA Sustainability client communication on E
- FTSE Russell sees growing

FTSE Russell today announces that its ESG R Sustainability Co. Ltd, a member firm of KPMG J Japanese companies. FTSE Russell launched its environmental, social and governance (ESG) data indicators, in December 2016.

FTSE Russell's ESG Ratings data model is part of the Green Revenues (LCE) data model and susta Series and FTSE Russell's 'Smart Sustainability' ind

FTSE Russell has been a pioneer in the developm launching the FTSE4Good Index Series in 2001. F investors with a transparent and objective benchma criteria. FTSE Russell's Green Revenues (LCE) d model that tracks companies that generate grea sustainability models.

インサイト インダストリー サービス セミナー KPMGにつ

ホーム > ニュースリリース/お知らせ > ニュースリリース > FTSE RussellのESGデータベース使用ライセンスを取得

FTSE RussellのESGデータベース使用ライセンスを取得

2017-03-08

KPMGあずさサステナビリティ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：斎藤和彦、船越義武、以下KPMGあずさサステナビリティ）は、コンサルティングファームとして世界で初めてロンドン証券取引所グループ傘下の世界的指数会社、FTSE Russell（本社：ロンドン、代表：Mark Makepeace、以下、FTSE Russell）のESG Module & Ratingsの使用ライセンスを取得し、従来から提供しているSRIコミュニケーションサービスを拡充します。

関連するコンテンツ



昨今、投資家の間では財務情報に加え、環境・社会・ガバナンス（ESG）などの非財務情報の要素を考慮する社会的責任投資（SRI）が拡大しています。こうした背景を踏まえ、企業が持続可能性に関する自社課題を認識するにあたり、ESG投資を行う投資家との直接的・間接的なコミュニケーションを通じて情報を把握することが有効な手段となっています。

サステナビリティ領域でのリスク管理や取組に対するパフォーマンスの改善、さらにはその情報開示に強みをもつKPMGあずさサステナビリティでは、インデッ

ESG評価型のシンジケート・ローン

Press Release

31 August 2018

FTSE
Russell

SMBC and Japan Research Institute select FTSE Russell ESG Ratings data model

- Sumitomo Mitsui Banking Corporation (SMBC) launches ESG evaluated syndicated loans and ESG evaluated loans



SMBCグループ

【NEWS RELEASE】

各位

2018年8月28日

株式会社三井住友銀行

「ESG/SDGs評価シンジケーション」取扱開始および「ESG/SDGs評価型資金調達」におけるFTSE RussellのESG評価結果に関する情報提供開始について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、本邦金融機関初の取組として、お客さまの資金調達におけるシンジケートローン組成時に、お客さまご自身のESG（※1）やSDGs（※2）（以下「ESG/SDGs」）の取組・情報開示の状況を、株式会社日本総合研究所（代表取締役：洲崎 正弘）と弊行が作成した基準に基づく評価も合わせて行う「ESG/SDGs評価シンジケーション」の取扱を開始します。なお、第一号案件として、東証一部上場の住友化学株式会社に対するシンジケートローンの組成を行う予定です。

住友化学 News Release

2018年10月1日

ESG/SDGs 評価型シンジケート・ローンの第1号案件として資金調達を実施

住友化学は、このたび、株式会社三井住友銀行（以下、「SMBC」）が提供する「ESG/SDGs 評価シンジケーション」の第1号案件として、計222.8億円の資金調達を実施しました。本シンジケート・ローンは、SMBCと株式会社日本総合研究所（以下、「日本総研」）が作成した基準に基づき、組成時に顧客のESGやSDGsの取り組みや情報開示の状況を評価する国内初の商品であり、今回、当社のESG/SDGs評価の結果に賛同いただいた金融機関によって組成されました。

<シンジケート・ローンの概要>

| | | |
|--------|--|--|
| 契約締結日 | 2018年9月26日 | |
| アレンジャー | 株式会社三井住友銀行 | |
| エージェント | 株式会社三井住友銀行 | |
| 組成金額 | 222.8億円 | |
| 貸出人 | 株式会社伊予銀行 株式会社京葉銀行 株式会社滋賀銀行 株式会社静岡銀行 株式会社七十七銀行 株式会社十六銀行 株式会社常陽銀行 株式会社長野銀行 株式会社南都銀行 株式会社八十二銀行 株式会社百五銀行 | 株式会社百十四銀行 株式会社武蔵野銀行 株式会社もみじ銀行 株式会社山梨中央銀行 信金中央金庫 全国信用協同組合連合会 茨城県信用農業協同組合連合会 岐阜県信用農業協同組合連合会 兵庫県信用農業協同組合連合会 大同生命保険株式会社 |

Source: FTSE Russell, SMBC (http://www.smbc.co.jp/news/j601687_01.html), Sumitomo Chemical (https://www.sumitomo-chem.co.jp/newsreleases/docs/20181001_1.pdf)

Disclaimer

© 2019 London Stock Exchange Group plc および関連グループ事業体(「LSEグループ」)。LSEグループには、(1) FTSE International Limited(「FTSE」)、(2) Frank Russell Company(「Russell」)、(3) FTSE TMX Global Debt Capital Markets Inc および FTSE TMX Global Debt Capital Markets Limited(合わせて「FTSE Canada」と表示します)、(4) MTSNext Limited(「MTSNext」)、(5) Mergent, Inc. (「Mergent」)、(6) The Yield Book Inc. (「YBI」)、(7) FTSE Fixed Income LLC (「FTSE FI」)が含まれます。無断複写・転載を禁じます。

FTSE Russell®はFTSE Russell、FTSE Canada、MTSNext、Mergent、FTSE FI、YBの商標です。ここで使用される「FTSE®」、「Russell®」、「FTSE Russell®」、「MTS®」、「FTSE4Good®」、「ICB®」、「Mergent®」、「The Yield Book®」、およびその他の商標ならびにサービスマーク(登録されているか否かは問いません)はすべて、LSEグループの該当メンバー会社またはそのそれぞれのライセンサーによって所有またはライセンスを供与されているか、FTSE、Russell、MTSNext、FTSE TMX、Mergent、FTSE FI、YBが所有、またはそのライセンスに基づいて使用されています。FTSE International Limitedは、ベンチマーク管理者として金融行為監督機構により認可され規制を受けます。

全ての情報は情報提供のみを目的として提供されています。本資料に記載されている全ての情報及びデータは、LSEグループが正確かつ信頼できると考える情報源から入手したものです。ただし、人的ミスや機械の誤作動、その他の要因による誤りの可能性があるため、当該情報及びデータはすべて“現状のまま”提供されており、これらの誤りに対していかなる保証もいたしません。LSEグループのメンバーまたは各取締役、役員、従業員、パートナーまたはライセンサーのいずれも、情報の正確性、適時性、完全性、市場性、または関連する金融商品の使用から得られる結果の正確性、適時性、完全性、市場性、あるいは特定の目的に対する金融商品の適切性または適合性に関して、明示または黙示を問わず、いかなる主張、予想、保証、表明も行いません。金融商品またはサービス等を通じてアクセス可能な過去のデータの表示は、情報提供のみを目的として提供されており、将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。

LSEグループのメンバーまたは各取締役、役員、従業員、パートナーまたはライセンサーは、(a) エラーの全部または一部に起因する、またはその結果に起因する損失または損害これらの情報またはデータの使用、または本資料または本資料へのリンクの使用、または(b) 本資料に記載されている情報の使用、または使用に起因する(過失またはその他の)たとえLSEグループのメンバーがそのような情報の使用または使用に起因するそのような損害の可能性を事前に知らされている場合であっても、直接、間接、特別、派生的または偶発的な損害については一切責任を負いません。

LSEグループのメンバーまたはその役員、役員、従業員、パートナー、またはライセンサーのいずれも、投資勧誘を提供しておらず、この資料に記載されている情報や関連する金融商品を通じて入手可能な情報(統計データおよび業界レポートを含む)は、財務または投資に関するアドバイスや財政的なプロモーションを構成するものとみなすべきではありません。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。チャートやグラフは説明目的のためだけに提示されています。提示されているインデックスのリターンは投資可能な資産における実際の取引の結果を表しているとは限りません。提示されている特定のリターンはバックテストされたパフォーマンスを反映している場合があります。インデックス算出開始日以前の全てのパフォーマンスはバックテストされたパフォーマンスです。バックテストされたパフォーマンスは実際のパフォーマンスではなく、仮説に基づいたものです。バックテストの計算は、インデックスの算出が正式に開始されたときに有効であったものと同じメソドロジーに基づいています。ただし、バックテストされたデータは、インデックスのメソドロジーの適用による後講釈のメリットを反映している場合があり、インデックスの過去の計算は、インデックスの計算に使用される元の経済データの改訂に基づいて月によって変化する可能性があります。

本資料には将来的な評価が含まれている場合があります。これらは将来の状況に関する多くの前提に基づいており、こうした前提は最終的に正確ではないことが判明する場合もあります。このような将来的な評価はリスクや不確実性を内包しており、様々な要因による影響を受ける可能性があるため、実際の結果と大きく異なる場合があります。LSEグループのメンバーまたはそのライセンサーは、将来的な評価をアップデートする義務または責任を負うものではありません。

この情報のいかなる部分も、LSEグループの適切なメンバーの書面による許可なしに、いかなる形式、またはいかなる方法、電子媒体、機械的な方法、複写、記録、または別の方法であっても、複製、保存(検索システムによる保存)、または送信されることはできません。LSEグループのデータの使用及び配布には、FTSE、Russell、FTSE Canada、MTSNext、Mergent、FTSE FI、YB、及び(または)それぞれのライセンサーからのライセンスが必要です。



事前質問



London
Stock Exchange Group



1. Exposureの「Medium」と「High」はどの程度差がありますか。
2. 企業が提出したフィードバックに対する評価結果を教えて頂くことは可能ですか。
3. 評価対象となるESGテーマの変更について、企業が事前に把握する方法はありますか。
4. 一度除外されたテーマがまた適用される可能性はありますか。
5. 評価機関や機関投資家に見やすいESG情報開示の媒体や方法、時期について、統合報告書等どこか一か所にまとめるのがよいのですか。
6. メソドロジーの公式和訳（最新版）を出していただけますか。
7. 調査項目の説明（ベストプラクティスなど）を公開しますか。